

議会のあり方調査特別委員会 議会ICT検討分科会 記録

開 会 年 月 日	令和6年2月9日
開 会 時 刻	午前10時43分
閉 会 時 刻	午前11時11分
出 席 委 員 名	◎北村 勝 ○宮崎 誠 三野泰嗣 川口 浩
	吉井詩子 岡田善行 福井輝夫 吉岡勝裕
欠 席 委 員 名	なし
署 名 者	—
担 当 書 記	森田晃司
協 議 案 件	1 議会におけるペーパーレス化について ・本格運用後の振り返りについて
	2 Google ドライブの運用について
	3 その他の事項 ・タブレット活用のための勉強会について
説 明 員	森田書記

## 会議の概要

北村会長が開会を宣告。その後、直ちに会議に入り、「議会におけるペーパーレス化について」外2件を順次議題とし、協議を行い、分科会を閉会した。

なお、詳細は以下のとおり。

## 協議の内容

### 1 議会におけるペーパーレス化について

「本格運用後の振り返りについて」を議題とし、会長から議会とともに当局でもペーパーレス化の運用がスタートしており、11月、12月の委員会・定例会で議会・当局合わせて約11万枚の紙の使用が削減できたとの報告、また、それについて委員に御礼を述べ、その後、令和6年1月30日及び31日に実施した視察内容も含めて振り返りとして委員に発言を求めたところ、下記のとおり発言があり、その後、本件についてはこの程度とした。

#### 【発言】

- ・吉岡委員「(視察へ行って、ペーパーレス化に関して) 小さなことからコツコツとというところもあれば、えいやあというところが印象に残っている。いずれはそういったところを目指していかなければいけないと思う。本市議会の場合は、パソコンが苦手な議員が多いため、一つずつ進んでいければよい。また、私はPDF-XChange Editorを使っている。簡単にメモを取れたり、マーカーが書きやすい。タッチペンを使っていない。これを使えばもう少し簡単に触ってもらえる方も増えるのでは。少しずつ慣れてもらうことが必要である」
- ・三野委員「私もタッチペンをあまり使っていない。PDFに直接タイピングしたり、もう一つメモ帳アプリを立ち上げてそちらに入力している。これが皆さんに最適かどうかというのは分からない」
- ・吉井委員「えいやあってやるのも勇気が要ることである。覚えることがたくさんあって、1つ覚えたら達成感がある。忘れると絶望感があるが、その繰り返しが大事である。メリットとデメリットの両方を見ていき、一つずつ克服していくことも大事。委員会・協議会が開催されたが、今回は計画案がたくさんあった。なるべく事前の審議会に参加し、紙資料をもらうようにしている。やっぱり熟読するのは紙かなと感じている。便利な点が多いので、慣れるしかない」
- ・川口委員「個人的に戸惑いを感じつつも紙から脱却を図ってきた。12月定例会はPDFにペンでメモ書きをして、保存をしていくという形で乗り切れた。個人的には何とかなっている気がしている。開成町の視察で、えいやあで完全ペーパーレス化に切り替えたという話を聞いて、確かにそれも必要で、それに惹かれる部分も若干ある。審議をより深めるといのがペーパーレス化の意義であると思うので、仮にペーパーレス化で悩んでいる人がいたら、強行していいのかなっていうところも考えておく必要がある」
- ・岡田委員「(ペーパーレス化について) 現在の運用であれば、特段難しいこともなくできると思う。今後、完全ペーパーレス化をしていくのであれば、複数台のパソコンの持ち込み、パソコンの貸与について踏み込んだ上で移行していくことになる。簡単な資料でさえ紙を印刷して持ち込んでいる人もいる。スキルアップができれば移行できるが、そこまで

は研修をしていかなければいけない」

- ・福井委員「開成町がペーパーレス化できたのは平均年齢が 55 歳ということが大きかった気がするが、かといって進めることは必要だと思う。そのためには繰り返して行うことが大事である。私は PDF に書き込んで云々というのはやっていないが、タッチペン等も利用しながらやっていかなければいけない。一斉に（完全ペーパーレス化を）行うのであれば、今の状態では難しい。やはりソフトにお金をかけることも必要。SideBooks に似た安いものでもいいかと思うが、それを使うことで皆が使いやすい環境ができるのでは」
- ・宮崎副会長「個人的には今の状況で何ら支障はない。これまで自分がやってきた仕事はほとんどがペーパーレス化に寄り添ってきたものであったため、問題はなかった。しかし、デジタルデバイス対策は引き続きやっていく必要がある。有料ソフトの活用の話があったが、現状でできるものはそれでやっていく、また、そのソフト開発を自分たちでするか、委託するか、そういったことも考えながら、一番活用しやすい方法を考えていく。(Surface Pro は) ノートパソコンとほぼ同じ状態のタブレットである。使ったことがないというのは言えない状況というのが最初の取っかかりであった。そこをどういうふう理解してもらえるのかを踏まえて、もっと進めなければいけない。苦手意識を克服することから始めるということが最優先。何が一番ベストというよりは、何がベターにできるのかということのを再認識させてもらえればと思う」
- ・北村会長「これからペーパーレス化を定着させていくために、研修会等の機会を増やしていくのが一番。拙速にえいやあと本格運用に移行できる環境ではない。丁寧に、じっくりとやっていきながら、抵抗感がないところへ持っていければと思っている。ソフトやエディタの部分は何かあればまた意見を頂戴しながら、検討するべきところは検討していくべきだと思うが、当面は今の形で慣れてもらう」

## 2 Google ドライブの運用について

現在運用中の Google ドライブについて、議会事務局から資料 1 のとおり、無料プランでの運用は、オンラインストレージ容量が 15GB であり、近い将来足りなくなることが想定されるため、有料プランへの移行が必要となること、また、有料プランには「Google One」、「Google Workspace」の 2 種類があることの説明があった。その後、会長から状況に合わせて「Google One」に移行してはどうかとの提案を行ったところ、特に異議なく、提案のとおり決定された。

## 3 その他の事項

本日、午後に予定されている「タブレット活用のための勉強会について」を議題とし、会長から、内容は前回までのおさらいとし、約 1 時間で 10 名程度の参加者が予定されていることの説明があり、委員には参加者の横でサポートしてもらえよう協力の依頼があった。

上記署名する。

令和6年2月9日

会 長